

せんとうき

館報 尖頭器



「尖頭器」とは主に旧石器時代に使われた狩猟具です

旧石器ハテナ館

史跡田名向原遺跡

旧石器時代学習館

TEL042 - 777 - 6371

平成 24 年 3 月 28 日

【第 14 号】

市内旧石器時代遺跡速報展 (3/15~5/13)

普段はハテナ館で展示している田名向原遺跡の石器や土器などが、現在相模原市立博物館の企画展で展示されています。それに伴い、ハテナ館では相模原市内でここ数年間に発見された旧石器時代の遺跡を紹介しています。



<展示内容>

- ・小倉原西遺跡
- ・橋本遺跡第 19 次調査
- ・古淵 B 遺跡第 2 地点 など

ハテナ館の石器も！

相模原市立博物館 企画展

『相模原市の遺跡 2012』

—田名塩田遺跡群とその時代—

平成 24 年 3 月 17 日(土)~5 月 6 日(日)

休館日: 毎週月曜日 (4/30 除く)、3/21、5/1

会場: 特別展示室



平成24年度の各種普及事業のご案内



	定例体験教室 (第3日曜日)	イベント	講演・連続講座
4月	15日 勾玉作り		28日(土) 講演「谷原古墳群について」 講師: 加藤修氏
5月	20日 土器作り	13日(日) 原当麻駅~田名向原遺跡探訪	
6月	17日 埴輪作り	9日(土) 八瀬川源流探訪	
7月	15日 弓矢作り	28日(土) 八瀬川探検・魚観察	14日(土) 講演「旧石器時代の石器について」 講師: 砂田佳弘氏
8月	19日 勾玉作り	26日(日) ナイトミュージアム~クイズ&肝試し	
9月	16日 矢じり作り		8日(土) 講演「黒曜石の分析について」 講師: 望月明彦氏
10月	21日 尖頭器作り	14日(日) 旧石器ハテナ館まつり 27日(土) 岩宿博物館見学ツアー	
11月	18日 編布作り		
12月	16日 勾玉作り	17日(日)~27日(木) 作品展	1日(土) 講演「田名塩田遺跡群の縄文環状集落について」講師: 市立博物館 河本学芸員
1月	20日 矢じり作り		23(土) 石器連続講座① 講義 講師: 市立博物館 河尻学芸員
2月	17日 土器作り		2(土) 石器連続講座② 講義 講師: 市立博物館 河尻学芸員
3月	17日 弓矢作り	埋蔵文化財調査速報発表会	9(土) 石器連続講座③ 石器製作

*普及行事は変更となる場合があります。

原始の？を解き明かす

ハテナ

やりきりがたせんとうき

第3回 住居状遺構出土の槍先形尖頭器

今回は住居状遺構から多数出土した槍先形尖頭器について取り上げます。尖頭器とは旧石器時代に登場する狩猟用の刺突具で、旧石器時代のものを槍先形尖頭器、縄文時代以降のものを石槍と言いつけることがあります。

田名向原遺跡の住居状遺構から193点(第1次調査分)の槍先形尖頭器が出土し、これらは他の石器と合わせて県の重要文化財に指定されています。これらの尖頭器を分析した結果、様々なことが判明しました。

【①石材の産地分析】

住居状遺構内出土の尖頭器は黒曜石を素材としたものが圧倒的に多く、193点のうち171点が黒曜石製でした。黒曜石は蛍光X線分析によって産地を推定することができます。下表が住居状遺構出土尖頭器の分析結果ですが、長野県の麦草峠産が多くの割合を占めていることが分かります。当時、各地域との交流がある中、麦草峠の人々と田名向原の人々が交流していたのかもしれません。

産地	点数	産地	点数
麦草峠(長野)	105	高原山(栃木)	4
柏峠(伊豆)	23	鍛冶屋(箱根)	2
畑宿(箱根)	20		
和田峠(長野)	7	黒曜石以外	22
星が塔(〃)	5	不明	5

【②調整加工の状態による分類】

尖頭器は加工の状態から大きく4つに分類できます。表裏に自然面を残さない両面調整、若干の自然面を残す半両面調整、表面のみ加工した片面調整、縁辺を加工した周辺調整の4タイプです。住居状遺構出土の尖頭器は周辺調整72点、半両面調整53点、片面調整21点、両面調整13点となっています。両面調整尖頭器を作る場合、大きな素材剥片が必要となります。逆に周辺調整や片面調整は小さめの剥片から作れるのが特徴です。住居状遺構からは剥片を剥がし取った残りの石核があまり見つかっていないことや、石器製作の過程で生じたと思われる微細剥片が多量に出土していることから、小さめの素材剥片の状態を持ち込み、調整を加えて尖頭器を製作した状況が考えられます。

【③出土した尖頭器の特徴】

これらの尖頭器には欠損していたものがあり、実際に使用した痕跡が見受けられる尖頭器も7点確認されました。これは折れてしまった尖頭器を住居状遺構まで持ち帰っていたことを示しています。また、欠損部に再調整を施した寸詰まりの尖頭器が見つかることから、貴重な黒曜石を無駄にしないという「旧石器人のエコ」とも言えるような現象を見ることができます。

さらに分析では断定できませんでしたが、着柄痕とみられる「スレ」状の擦痕が観察された尖頭器も見ついています。日本列島における旧石器時代の遺物は石器が主ですが、その石器から当時の生活が色々と読み取れるのです。



住居状遺構から出土の尖頭器

新任・退任のごあいさつ

ありがとうございました 大塚靖夫

月日がたつのは早いもので、3年が経過いたしました。この間、地域の皆様やボランティアガイドの方々には、イベントや行事等を通してご協力いただいたことに心より感謝しています。ハテナ館がこれからも末永く愛されるようお祈りして、お礼の言葉と致します。

和田哲男 よろしくおねがいます

中学校の教員を退職して3月からハテナ館の学習指導員として勤務することになりました。退職後は博物館関係の仕事に就くのが夢でした。「謎」と「ロマン」に満ちた旧石器時代の生活について、皆さんと一緒に探っていきたいと思っています。気軽にお声を掛けてください。みな様の来館をお待ちしています。

